



JUNSEI

製品安全データシート

1, 化学物質等及び会社情報

製品名 (食品添加物) 次亜硫酸ナトリウム Sodium hydrosulfite
整理番号 58026
作成日 2012 年 11 月 19 日

会社名 純正化学株式会社
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16
連絡先及び緊急連絡先 (MSDS 作成担当)
担当部門 営業本部学術担当
担当住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町 1 - 6
電話番号 048-988-3621 FAX 番号 048-988-6689
E-mail: shiyaku-t@junsei.co.jp
<http://www.junsei.co.jp>

用途と使用上の注意: 本製品は食品添加物です。使用基準に従って御使用下さい。

2, 危険有害性の要約

【GHS 分類】 NITE 分類(ID=1389)

物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分外
自然発火性固体 : 区分外
自己発熱性化学品 : 区分 1
水反応性可燃性物質 : 区分外
酸化性固体 : 区分外
金属腐食性物質 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性 経口 : 区分外
皮膚腐食性 / 刺激性 : 区分 2
眼に対する重篤な損傷性 / 刺激性 : 区分 2A-2B

環境に対する有害性

水性環境急性有害性 : 区分 3
水性環境慢性有害性 : 区分外

(注) 危険有害性の分類で、「分類対象外」及び「分類出来ない」は項目を省いた。

【GHS ラベル要素】

【GHS 絵表示】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

自己発熱; 火災のおそれ
皮膚刺激
強い眼刺激
水生生物に有害

【注意書】

【安全対策】

- ・涼しいところに置き、日光を避けること。
- ・取り扱い後は手をよく洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

【応急措置】

- ・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。医師の診断・手当てを受けること。
- ・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断・手当てを受けること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断・手当てを受けること。
- ・眼の刺激が続く場合、医師の診断・手当てを受けること。

【保管】

- ・積荷 / パレット間にすきまをあけること。
- ・日光から遮断すること。
- ・他の物質から離して保管すること。

【廃棄】

- ・中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

3, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品
化学名: 次亜硫酸ナトリウム Sodium hydrosulfite
別名 : 亜ジチオン酸ナトリウム
化学式: $\text{NaSO}_2\text{SO}_2\text{Na}$
CAS No: 7775-14-6
EINECS No: 231-890-0
含有量: 85.0%以上
化審法: 1-504
安衛法: 公表

4, 応急措置

吸入した場合: 新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。
皮膚に付着した場合: 汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。
眼に入った場合: 先ず数分間、多量の水で洗い流す(できればコンタクトレンズをはずす)。医師に連れて行く。
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせない。医師に連絡。
予想される急性症状及び遅発性症状

吸入した場合：咳、咽頭痛。
皮膚に触れた場合：データ無し
眼に入った場合：発赤、痛み。
飲み込んだ場合：吐き気、腹痛、嘔吐、下痢。
最も重要な徴候及び症状：眼および気道を刺激する。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項：データなし
医師に対する特別な注意事項：データなし

5, 火災時の措置

消火剤

大量の水、粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、乾燥砂類。

使ってはならない消火剤

データなし

消火方法

周辺火災の場合、出来る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。

着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。

特有の危険有害性：可燃性。火災時に刺激性あるいは有毒なフュームやガスを放出する。

特有の消火方法：データなし

消火を行う者の保護のために着用する保護具：防火保護服、手袋に加え、空気呼吸器等を着用する。

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項

暴露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。

保護具及び緊急時措置

「8. 暴露防止及び保護措置」における、保護具着用

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

回収、中和

漏出物をふた付の容器に集め、残留物を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。
おがくず他可燃性吸収剤に吸収させてはならない。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 蒸気、ミスト、ガスが、皮膚に触れたり、吸入することがないように、局所排気したり、保護具を着用する。
- 作業場を換気する。
- 作業中は飲食、喫煙をしない。
- 強酸化剤との接触に注意する。

保管

- 密栓して換気の良い冷暗所に保管する。
 - 強酸化剤、酸、水から離しておく。
-

8, 暴露防止及び保護措置

通気：換気装置を用いて、ミスト、ほこり、蒸気濃度を低く保つ。

管理濃度(労働安全衛生法):設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会(2011 年度):設定されていない

ACGIH(2010 年): 5mg /m3 (二亜硫酸ナトリウム($\text{Na}_2\text{S}_2\text{O}_5$)として)

設備対策

局所排気装置、洗眼器、安全シャワー

保護具

- 防塵マスク。送気マスク、空気呼吸器等。
- 不浸透性保護手袋。
- 安全ゴーグル。
- 不浸透性保護衣。

9, 物理的及び化学的性質

外観: 白色の結晶性の粉末

臭い: 二酸化硫黄の刺激臭

pH: データなし

融点: 52 (dec)

沸点: データなし

引火点: > 100 (Open cup)

爆発範囲の上限・下限: データなし

蒸気圧: データなし

蒸気密度: データなし

比重/密度: 2.4 g/cm³

溶解度: 25 g/100 ml (20)

n-オクタノール/水分配係数: log Kow = < -4.7

自然発火温度: 約 190

分解温度: データなし

10, 安定性及び反応性

反応性と安定性: 推奨条件下で安定。

避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動など): 混触不可物質、高温体、熱及び裸火との接触

酸の影響下で水、水蒸気、湿った空気と接触すると自然発火を起こす。

混触不可物質: 酸化剤、酸、水分、塩化ナトリウム

危険な分解生成物: イオウ酸化物を含む有毒なフューム

危険な重合反応: しない

11, 有害性情報

急性毒性 経口

ラット LD₅₀ 値: 2,500mg/kg (IUCLID, 2000) に基づき、区分外とした。

急性毒性 経皮

データ無し

急性毒性 吸入: ガス

GHS の定義における固体

急性毒性 吸入: 蒸気

データ無し

急性毒性 吸入:粉塵ミスト

データ無し

皮膚腐食性 / 刺激性

IUCLID (2000) のウサギを用いた試験で皮膚刺激性は認められなかったとの記述はあるが、HSFS (2000) にヒトの皮膚を重度に刺激する可能性を示唆する記述があることから、区分 2 とした。

眼に対する重篤な損傷性 / 刺激性

IUCLID (2000) のウサギを用いた試験で刺激性が認められたとの記述から、区分 2A-2B とした。回復性が不明であることから細区分はできない。

呼吸器感作性

データ不足

皮膚感作性

データ不足

生殖細胞変異原性

データ不足

発がん性

データ無し

生殖毒性

データ無し

特定標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露)

データ不足

特定標的臓器 / 全身毒性 (反復暴露)

データ無し

吸引性呼吸器有害性

データ無し

12, 環境影響情報

- 生態毒性

水性環境急性有害性

魚類 (ゴールドンオルフエ) の 96 時間 $LC_{50}=46-68\text{mg/L}$ (IUCLID, 2000) から、区分 3 とした。

水性環境慢性有害性

水中で解離する際に溶存酸素が低下することが毒性の要因と考えられるが、環境水中では毒性影響が緩和されるため、区分外とした。

13, 廃棄上の注意

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

国連番号: 1384

品名: SODIUM DITHIONITE (SODIUM HYDROSULPHITE)

国連分類: 4.2 (自然発火性物質) 自然発火性物質

容器等級:

海洋汚染物質：非該当
緊急時応急措置指針番号：135

15, 適用法令

消防法：非該当
毒劇法：非該当
P R T R法：非該当
労働安全衛生法：安衛法通知有害物(施行令、別表第九の番号)：非該当 ()
食品衛生法：食品添加物 次亜硫酸ナトリウム

16, その他の情報

参考文献

- メルクインデックス14版 8626(Sodium hydrosulfite)
- 危険物船舶運送及び貯蔵規則(十四訂版)国土交通省海事局検査測度課(海文堂)
- 改訂第3版 緊急時応急措置指針(日本規格協会)
- NITE GHS 分類データ (ID=1389)
- NITE GHS 分類マニュアル(H22.3版)
- 製品安全データシートの作成指針(改訂第2版)((社)日本化学工業協会)
- 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)(NITE) <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>
- Hazardous Substances Data Bank (HSDB)
- International Chemical Safety Cards (ICSC) No. 1717(亜ジチオン酸ナトリウム)

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。また、記載物性値は文献値であり、規格値ではありません。全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。